

令和8年度 県立図書館の取組

「兵庫県立図書館中期運営方針」（令和5年度～9年度）に示された13の取組について、令和8年度は次のとおり取り組む。

（1） 資料の充実

- 専門書・学術書、ふるさとひょうご関連資料に軸を置いて、図書・資料の充実を図る。
- リクエストにも適切に対応し、利用者ニーズを踏まえた資料収集に努める。
- 阪神・淡路大震災関連資料など、ふるさとひょうごの情報拠点としての役割を踏まえた資料の充実を図る。
- 収集した資料の書誌データを国立国会図書館総合目録ネットワーク（ゆにかねつと）に提供する。

◆（1）の指標

〔指標〕	令和8年度（計画数）	[再掲]令和7年度(1月末)
蔵書冊数	683,200	677,089
蔵書検索（HP）数	3,490,000	2,908,491
来館者数	104,000	96,978
貸出数	44,000	39,139

（2） デジタル化の推進

① ひょうご図書館情報ネットワーク（HALネット）の機能の充実

- 令和6年1月に更新した「ひょうご図書館情報ネットワーク（HAL ネット）」を活用し、電子化の推進に努める。
- インターネット予約貸出や遠隔地返却の利用促進。
 - ・ SNS等での広報によるインターネットでの利用登録の促進
 - ・ スマートフォン版利用者カードの発行

② ふるさとひょうご関連データベースの充実

- 利用者の調査活動や職員による質の高いレファレンスに活用するため、「ふるさとひょうご関連データベース」の利便性の向上を図る。
 - ・ コンテンツ数の充実
(著作権の保護期間が終了した資料のホームページでの公開を含む)
 - ・ HPで使い方を紹介するなど、機能拡充したデジタル・アーカイブの利用促進

③ 計画的なデジタル化

- 郷土資料のデジタル化に計画的に取り組む。
 - ・ 戦前の歴史資料をデジタル化

④ 電子化された資料の利活用の促進

- さまざまな拠点から資料にアクセスできるよう、多様な情報アクセス拠点との連動を図る。
- 民間が運営するオンラインデータベースの利活用の促進に努める。
 - ・ 国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（ひなぎく）との連携
 - ・ 当館で利用できるオンラインデータベースの利活用方法の案内
 - ・ 国土地理院など他サイトとのリンクによる利便性の向上

⑤ 電子書籍の導入

- 電子書籍の利用促進を図る。
- 辞書・事典、図鑑等コンテンツの充実を図る。
- 県民誰もが電子書籍を利用できる仕組みづくりを促進する。
 - ・ 電子書籍タイトル数の充実
 - ・ 学校単位での申請に基づく児童生徒一人ひとりへのID・パスワードの付与
 - ・ 電子書籍の利用促進の広報、説明会の開催 等
 - ・ 誰もが読みたい資料に簡単にたどりつけるわかりやすい操作マニュアルの作成等により電子書籍の利用機会の拡大
 - ・ 電子書籍の利用、インターネット予約貸出などの広報物を作成し、各市町図書館等へ配布

◆(2)の指標

[指標]	令和8年度(計画数)	[再掲]令和7年度(1月末)
ふるさとひょうご関連データベース登録数	44,900	44,082
電子書籍タイトル数	6,820	6,536

(3) レファレンスの充実

- 利用者の多様なニーズや自主的な調査・研究を支援するため、国立国会図書館の協同データベースやこれまで蓄積してきた資料情報やノウハウを活用し、利用者の満足度向上をめざす。
- レファレンスサービスの広報に努める。
 - ・ 館内にレファレンスの利用案内を掲示
 - ・ HPやチラシでの広報
- 外部講師等による図書館職員を対象とした研修会を実施する。
【主な研修】
 - ・ レファレンス研修(初級・中級)「図書館サービスと著作権」

◆(3)の指標

[指標]	令和8年度(計画数)	[再掲]令和7年度(1月末)
参考業務受付件数	9,000	8,505

(4) 知的好奇心をくすぐる機会の提供

① 展示の充実

- 時事問題や県の施策に合わせた展示など趣向を凝らした展示の企画に努める。
- 地域や社会の課題や話題に沿ったテーマ設定や参加体験型の展示に取り組む。
- AIを活用して展示のレイアウトやポスターデザイン等を作成する。 新

【主な展示】

- ・ 企画展示「ひょうごに伝わる妖怪・怪談(仮)」
実施時期：令和8年4月～7月
県立歴史博物館「妖怪・幻獣づくし」と連携
- ・ 企画展示「銀の馬車道開通から150年(仮)」
実施時期：令和8年5月～9月
中播磨県民センターと連携

- ・企画展示「昭和100年展（仮）」
実施時期：令和8年5月～8月
- ・企画展示「映画「国宝」に学ぶ歌舞伎（仮）」
実施時期：令和8年5月～8月
豊岡市出石振興局と連携

② 魅力ある講座の実施

- 社会のニーズに合ったテーマや講師選定、兵庫県ゆかりの研究者の活用等、魅力ある講座を実施するとともに、受講者増加につながるよう広報を充実する。
- 県内大学等の教授らの講師派遣を促進し、県民の探求や調査研究を支援する。
 - ・魅力ある講座を企画し、SNS等で広報を行う。

【主な講座】

- ・「連続歴史講座」
- ・「連続講座ひょうご歴史めぐり（仮）」（兵庫津ミュージアムと連携）
- ・「秋撒きの草花の育て方（仮）」（県立フラワーセンターと連携）
- ・「(子ども向け) モダン名建築の歴史とスケッチ（仮）」（明石高等専門学校と連携）

③ 非来館型の参加しやすい学習機会の提供

- オンライン参加講座による学びの機会を提供する
- 職員等が館外に出向く出前講座や学校サポート講座の実施を通じて、県内どこでもサービスを楽しむ利用しやすい学びの機会を提供する
 - ・歴史講座など各講座のオンライン配信
 - ・来館が難しい遠方の方が講座に参加しやすいように各地区の身近な活動拠点である公民館等に出前講座の広報を行う
 - ・学校サポートプロジェクトについては、P6（7）①参照

④ 児童・生徒向けイベントや講座等の充実

- 児童・生徒対象の研究指導の実施や体験学習と読書をつなぐイベントの充実を図る。
 - ・「図書館夏祭り」や「モダン名建築の歴史とスケッチ」等のイベント時に大閲覧室に 関連図書コーナーを設け、図書に触れやすい環境をつくる
 - ・近隣の幼稚園・保育所・小学校へのチラシ配布など広報を工夫
 - ・「全国高等学校ビブリオバトル兵庫県大会 2026」の実施
 - 開催日：令和8年12月頃（予定）
 - 会場：甲南大学 岡本キャンパス
 - 内容：全国大会の兵庫県予選を実施
 - バトラー：35名程度（予定）
 - 後援：活字文化推進会議・甲南大学

⑤ 「子ども子育て資料室」「課題解決コーナー」の活用

- 「子ども子育て資料室」の利活用促進に努める。

○ 「課題解決コーナー」の有効活用を図る。

・ 利用方法をパネルで説明することにより利用促進に努める

■ 子ども子育て資料室

・ 県内市町立図書館の子どもコーナー等に子ども子育て資料室に関するチラシを設置するなど広報を充実する

・ 第13回 KOBELCO 森の童話大賞の図書展示

■ 課題解決コーナー

・ 医療健康情報、暮らしの中の法情報やビジネス支援関係の資料の充実

・ 遺言に関する展示（神戸地方法務局と連携し講座も同時期に実施）

・ 校外学習時のグループ学習等に活用できる旨を広報

◆ (4)の指標

[指標]	令和8年度（計画数）	[再掲]令和7年度(1月末)
展示・講座の参加者数	6,000	5,633
オンライン講座の受講者数	200	162

(5) 人と情報の交流拠点機能の充実

① 交流スペースの運用

○ 利用者同士の交流の場として談話室の活用を促進するとともに、県域情報等を容易に収集できる場となるよう運用する。

○ 館内のあらゆるスペースを積極的に活用し、交流促進を図る。

【主な活用】

■ 談話室

・ 「図書館夏祭り」での高校生による自作絵本の読み聞かせ

・ 兵庫県内のイベントの案内や県政情報の提供

・ ラックへの配架時にポップをつけるなど表示の工夫

■ ロビー

・ 高校の美術科・部の作品のロビー展示

・ 明石工業高等専門学校建築学科卒業作品展示

■ 試写室

・ ボランティアグループ「兵庫ビデオサークル」の協力によるミニシアターの実施

実施日：偶数月の第3日曜日

■ 第2研修室

・ 夏季休業、冬季休業および定期考査期間中等に第2研修室を自習室として開放

② 交流機会の提供

○ 図書を媒介にした遊び心のある交流の機会を充実させる。

○ 県立明石公園で開催されるイベントの活気を呼び込むよう、イベントへの出展やPR

活動の展開を図る。

- ・明石城まつりでのブース出展
- ・不要になった本の譲渡会の実施
- ・明石公園パークギャラリーでの県立図書館の展示や各種イベント等の紹介

◆(5)の指標

〔指標〕	令和8年度(計画数)	[再掲]令和7年度(1月末)
談話室利用者数	16,000	15,623
交流スペース利用企画数	5	4

(6) だれもが利用しやすい環境の推進

① バリアフリーの推進

- 誰にとっても利用しやすい図書館となるよう、わかりやすい案内表示の作成など、環境整備を推進する。
- 職員の接遇対応スキルの向上を図る。
 - ・点字ブロックの増設
 - ・ユニバーサルデザインに配慮した案内板の設置
 - ・点字表記の充実
 - ・カラーカーテンや花壇などを設置し、憩いの場づくり
 - ・職員接遇マナーの向上のための研修に参加し、職場研修を実施

② 視覚障害者等へのサービスの向上

- 点字ディスプレイや対面朗読の活用などにより読書機会の拡大を図る。
- 国立国会図書館の視覚障害者等用データ送信サービス等を活用し、視覚障害者等用資料のDAISYデータや点字データ等の利用環境の充実に努める。
 - ・兵庫県点字図書館と連携した読書支援サービスの充実
兵庫県点字図書館が所有する視覚障害のある人が利用しやすい多数のオーディオブック等について当館ホームページで紹介
 - ・DAISY図書の活用や点字図書館と連携した対面朗読の実施
 - ・障がいのある方向けサービスをHP上でわかりやすく情報発信

③ 資料にアクセスしやすい環境整備

- 託送システムをはじめとした市町立図書館との連携の強化。
 - ・出前講座やイベント出展の際にWEB登録希望者に対して登録手続きのサポート支援を強化 **新**
 - ・新たな広報物作成によりインターネット予約貸出の利用を促進 **【再掲】**

④ マイナンバーカードとの連携推進

- マイナンバーカードによる資料の貸出の利用促進に努める。

◆(6)の指標

〔指標〕	令和8年度(計画数)	[再掲]令和7年度(1月末)
インターネット貸出予約利用者数	9,000	6,925

(7) アウトリーチ事業の拡充

① 学校サポートプロジェクトの充実

- 学校等への広報を徹底し、利用校数の増加を図る。
- 学校サポート講座のテーマ設定や実施方法など、各校のニーズに柔軟に対応する。
- 学校セット貸出について、的確な選書を行う。
 - ・ 学年単位等の多人数でも実施できる学校サポート講座のテーマの紹介
 - ・ 児童・生徒や教職員(学校司書・司書教諭)を対象にした実践講座の実施 (学校図書館の利活用、本の修理、ブッカーかけ、ビブリオバトルの説明・体験、読書の楽しみ方など)
 - ・ 学校単位での申請に基く児童生徒一人ひとりへのID・パスワードの付与を活用した電子書籍の利用促進
 - ・ 小・中学生向けの電子書籍をおすすめ本リストにまとめるなど、小・中学生が検索しやすいよう工夫
 - ・ 電子書籍やセット貸出について、市町立学校図書担当者会へ広報
 - ・ 電子書籍活用法の聞き取り調査及び活用事例を全校(未実施校を含む)へ周知 新

② 行政の政策形成・政策研究への支援

- 県や市町の職員グループ等が政策研究等に活用できるよう適切に選書した書籍のセット貸出を行う。
 - ・ 自治研修所やHP等で県内各自治体への制度の広報を実施

③ 社会教育施設、行政機関、団体等との連携強化

- 館外巡回イベントでパネル展示やチラシ配布等を実施
- 社会教育施設や団体等と連携した資料や施設の利活用の促進を図る。
 - ・ 県職員に電子書籍の利用についてメールによる広報を実施
 - ・ 当館からの関連資料の提供 (明石商工会議所、明石コミュニティ創造協会、神戸地方法務局等)

④ 出前講座の充実・強化

- 生涯学習関係団体等へのPRを図るとともに、講座内容の充実を図る。
 - ・ 明石コミュニティ創造協会を通じ、東播磨地域のコミュニティ・センター等で「県立図書館の上手な使い方」、「電子書籍の活用方法」、「著作権について」などの講座を実施

◆(7)の指標

[指標]	令和8年度(計画数)	[再掲]令和7年度(1月末)
学校サポート講座		
回数	10	10
参加者数	300	353
学校セット貸出		
件数	25	26
冊数	2,000	1,294

出前講座・館外イベント等		
実施回数	6	8
参加者数	1,000	1,069

(8) 資料貸借の協力体制の強化

① ひょうご図書館情報ネットワーク（HALネット）の中核機能の充実

○ ひょうご図書館情報ネットワーク（HALネット）を活用し、中核機能の充実を図る。

- ・ 県内全市町立図書館の横断検索をPR **新**
- ・ 大学図書館や関連施設へ兵庫県内図書館横断検索への参加を呼びかけ

② 市町間相互貸借システムの充実

- 市町立図書館へ積極的、効率的に協力貸出を行う。
- 市町間の相互貸借が円滑に機能するよう必要な調整を行う。
- 兵庫県立図書館託送システムの利便性の向上を図る。
 - ・ 市町から相互貸借について、要望があれば対応方法を検討
 - ・ 協力貸出の実績が減少している地域の県民局や市町立図書館、市役所、公民館へのチラシ配布・配架するなど協力貸出の広報を充実

◆(8)の指標

[指標]	令和8年度（計画数）	[再掲]令和7年度(1月末)
市町立図書館リクエスト		
リクエスト件数	300	250
リクエスト応諾率（%）	70	70
協力貸出		
利用館数	1,532	1,532
利用冊数	12,000	11,148

(9) 関連機関との連携の強化

① 近隣施設・関連施設等との連携

○ 明石市立文化博物館等の特別展と連携した展示に取り組む。

【主な連携】

- ・ 明石市立文化博物館連携展示
「発掘された明石の歴史展（仮）」
- ・ 兵庫県立歴史博物館連携展示
「ひょうごに伝わる妖怪・怪談（仮）」 **【再掲】**
- ・ 兵庫県立考古博物館連携展示「古代鏡あれこれ（仮）」

② 県行政の主要事業等との連携

- 兵庫県が展開する主要事業等に関連した展示や講座を担当部局と連携して実施し、県政に対する県民の関心を高める。

・ ふるさとひょうご情報室の行政資料コーナーに新着情報とわかるポップを付けるなど表示を工夫 新

【主な連携】

- ・ 企画展示
「銀の馬車道開通から150年（仮）」【再掲】
実施時期：令和8年5月～9月
中播磨県民センターと連携
- ・ 企画展示「映画「国宝」に学ぶ歌舞伎（仮）」【再掲】
実施時期：令和8年5月～8月
豊岡市出石振興局と連携

③ 国立国会図書館、都道府県立図書館等との連携

- 多くの人の利用に供するため、国立国会図書館総合目録ネットワーク（ゆにかねつと）、東日本大震災アーカイブ（ひなぎく）等へ積極的に当館所蔵データを提供する。
- レファレンス充実のため、国会図書館が集約するレファレンス協同データベースを活用し、当館から積極的に事例を提供する。
- 図書館運営に関する新たな課題に対処するため都道府県立図書館等と連携し、情報共有に努める。

・ 兵庫県図書館協会加盟館に研修会・講演会等のテーマ・講師情報を集約し、令和8年4月に情報を提供 新

◆(9)の指標

[指標]	令和8年度（計画数）	[再掲]令和7年度(1月末)
関連施設や県行政との連携		
連携展示数	8	8
連携先数	4	5
参加者数	1,900	2,172

(10) 県民・利用者参加型の図書館運営

① ボランティア活動の拡大

- ボランティアの方が有する資格や経験等を生かし活動できる範囲を拡大する。

【主な活動】

- ・ 交流スペース（談話室）の企画運営
- ・ 書架の整理業務
- ・ 資料寄贈に係る事務補助業務
- ・ 講座運営補助 他

②企業等との連携

- 企業等の専門性を生かした事業や社会貢献活動と積極的に連携する。
 - ・ KOBELCO 森の童話大賞
 - ・ ひょうご本大賞 2026

◆(10)の指標

[指標]	令和8年度(計画数)	[再掲]令和7年度(1月末)
ボランティア登録者数	30	26

(11) 図書館職員の資質向上

① 研修への積極的参加

- 職員の専門性を高めるため、積極的に外部研修等に参加する。
- 全職員が受講する共通テーマ研修の充実を図る。
- レファレンス能力等の向上を図る。

② 市町立図書館職員の資質向上支援

- 市町図書館の意見を踏まえつつ、新たな課題に対応する研修を実施するとともに、市町へのレファレンス事例の提供に努める。
- 当館が事務局を務める兵庫県図書館協会主催研修でニーズの高いテーマを選んで実施する等研修会の質を高める。
- 関係機関等で実施される研修会情報を市町立図書館に積極的に提供する。
- 成果に関するアンケート調査の実施や、市町立図書館へのヒアリング等を通じて今後の研修内容の充実を図る。

【主な研修】

- ・ 兵庫県図書館協会主催の地区別研修（5回）、研究集会（2回）
- ・ 図書館等職員研修講座新任研修（1回）
- ・ 令和8年度図書館地区別研修（近畿地区）の開催（文部科学省、兵庫県教育委員会主催） 新

◆(11)の指標

[指標]	令和8年度(計画数)	[再掲]令和7年度(1月末)
市町立図書館職員研修受講生アンケートにおける成果の割合(%)	90	95.6

(12) 情報発信力の強化

① 魅力あるコンテンツづくり

- 展示等の年間計画をホームページ等に掲載するとともに、新着図書案内や講座開催のお知らせ等の新着情報をホームページでタイムリーに広報する。
- X（旧Twitter）やInstagramでの職員のつぶやき等、当館に親しみを持てるよう情報提供に努める。

② 多様な広報ツールの活用

- 兵庫県立図書館だより「くすの木」等の広報資料を様々な機会を活用し、広く配布するとともに、ホームページやSNSを使った積極的な広報に努める。
- 学校で使用されている既存システム（兵庫県教育情報ネットワーク）を活用し、学校セット貸出等の案内を送信する等情報提供先の拡大を図る。
- 報道機関に企画展示や講座等の開催案内に加え、幅広い話題を積極的に提供する。
 - ・ 様々な媒体を使って図書館情報および電子書籍サービスを積極的に広報

◆(12)の指標

[指標]	令和8年度（計画数）	[再掲]令和7年度(1月末)
ホームページアクセス数	220,000	211,607
新聞・ケーブルテレビ等への掲載件数	60	66

(13) 運営方針の効果的推進

① 運営方針の進行管理

- 毎年度、事業計画を策定し、事業等の推進を図る。
前年度の事業の進捗状況の評価結果を図書館協議会に報告する。
- ・ 次年度事業計画の策定 3月頃
 - ・ 前年度事業の進捗状況の評価 9月頃

② 評価の見える化

- 毎年度、自己評価を行い、結果を公表する。
- ・ 評価指標に基づく前年度事業の評価結果をホームページ等で公表 10月頃

〔指標〕		計画数			実績		
		令和8年度	令和7年度	増減	令和7年度		令和6年度
					1月末現在	年間見込み	年度末実績
		①	②	①-②	③	③/10*12	④
(1)資料の充実	蔵書冊数 ※	683,200	678,500	4,700	677,089	—	673,179
	蔵書検索（HP）数	3,490,000	3,396,000	94,000	2,908,491	3,490,189	3,465,938
	来館者数	104,000	127,000	-23,000	96,978	116,374	116,444
	貸出数	44,000	52,000	-8,000	39,139	46,967	45,028
(2)デジタル化の推進	ふるさとひょうご関連データベース登録数 ※	44,900	44,100	800	44,082	—	43,618
	電子書籍タイトル数 ※	6,820	6,650	170	6,536	—	6,495
(3)レファレンスの充実	参考業務受付件数	9,000	11,000	-2,000	8,505	10,206	9,310
(4)知的好奇心をくすぐる機会の提供	展示・講座の参加者数	6,000	8,400	-2,400	5,633	6,760	7,368
	オンライン講座の受講者数	200	200	0	162	162	177
(5)人と情報の交流拠点機能の充実	談話室利用者数	16,000	21,000	-5,000	15,623	18,748	18,384
	交流スペース利用企画数	5	5	0	4	4	7
(6)だれもが利用しやすい環境の推進	インターネット貸出予約利用冊数	9,000	13,000	-4,000	6,925	8,310	7,348
(7)アウトリーチ事業の拡充	学校サポート講座						
	回数	10	10	0	10	10	14
	参加者数	300	300	0	353	353	447
	学校セット貸出						
	件数	25	20	5	25	26	28
	冊数	2,000	2,000	0	1,294	1,349	2,129
	出前講座・館外イベント等						
	実施回数	6	6	0	8	8	9
参加者数	1,000	1,000	0	1,069	1,069	953	
(8)資料貸借の協力体制の強化	市町立図書館リクエスト						
	リクエスト件数	300	350	-50	250	300	278
	リクエスト応諾率	70%	70%	0.00%	70.00%	—	68.35%
	協力貸出						
	利用館数	1,532	1,520	12	1,532	—	1,459
利用冊数（貸出数に含んでいる）	12,000	12,000	0	11,148	13,378	11,088	
(9) 関連機関との連携の強化	関連施設や県行政との連携						
	連携展示数	8	8	0	8	8	6
	連携先数	4	4	0	5	5	5
	参加者数	1,900	3,800	-1,900	2,172	2,172	2,532
(10)県民・利用者参加型の図書館運営	ボランティア登録者	30	30	0	26	—	25
(11)図書館職員の資質向上	市町立図書館職員研修受講生アンケートにおける成果の割合(%)	90	90.0	0	97.3	97.3	93.0
(12)情報発信力の強化	ホームページアクセス数	220,000	220,000	0	211,607	253,928	208,804
	新聞・ケーブルテレビ等への掲載件数	60	50	10	66	—	61

《参考》 電子書籍 学校ID一括登録数：114校 55,704人

電子書籍 閲覧数：13,198